

患者さまへ

「治療が奏効した多発性骨髄腫症例における 治療中断による影響の解析」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2014年1月より2023年12月までに当院血液内科において多発性骨髄腫治療を受け、完全寛解もしくは微小残存病変陰性化を達成し積極的に治療中断を行った患者さま
2 研究目的・方法	<p>多発性骨髄腫の治療は、これまでの治験などでは一旦開始した治療を再発するまで継続することになっています。</p> <p>しかし、治療が幸いに奏効して、多発性骨髄腫が寛解し、寛解を維持できている患者さまでは、そこまで治療を継続する必要があるのか、わかっていません。治療を継続することで、国の医療費は膨らみますし、患者さまの金銭的負担にもなっていることとされます。</p> <p>実際の臨床では、無治療を選択する患者さまが多いのも現実ですし、無治療で数年過ごされる患者さまも多いのが現実です。</p> <p>そこで、当院で多発性骨髄腫に対し治療を受けられた患者さまの中で、無治療で長期寛解維持することができた患者さまというのはどのような患者さまなのか、調査をしたいと考えました。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024年4月予定)後~2025年2月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、病歴、検査所見 再発の有無 等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 佐藤 淑 湘南鎌倉総合病院 血液内科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p>